

犠牲陽極材 — 高防食、高耐久性 電気防食型

「ガルバシールド DAS」は、従来のガルバシールドより高い防食性能、耐久性を有し、電気防食レベルの防食効果を期待できる犠牲陽極材です。長期的な犠牲陽極材の防食性能は亜鉛量だけでなく、バックフィル材（亜鉛促進剤）の鉄筋に対する品質（塩化物、臭化物を含まない）も非常に重要な役割を担います。また、高い防食性能により飛沫帯や干満帯の厳しい環境下である構造物への適用も可能です。

特長

- 高い防食性能
従来のガルバシールドより防食電流量が非常に大きく、消費効率にも優れ、電気防食レベルの防食性能を發揮します。
- 多彩な用途
数種類の形状により現場条件に合わせた仕様を組めます。Mタイプは海中部での施工も可能です。
- メンテナンスフリー（オプションで計測可能）
外部電源・モニタリングは不要です。
- 耐用年数 最長 40 年
必要条件に応じて防食期間が設定できます。

用途

- コンクリート構造物全般、RC 杭、鋼管杭

仕様

- 適用範囲

| 防食レベル | 定義 | DAS |
|-----------------|-------------|-----|
| 鉄筋防錆 (マクロセル) | 新しい腐食の発生を防ぐ | ○ |
| 腐食抑制 | 進行中の腐食を抑制する | ○ |
| 電気防食 | 進行中の腐食を止める | ○ |

- 防食性能

XP = XPT < CC < XP2 < XP4 < DAS / FUSION

- 外観



※「ガルバシールド DAS」設置後、断面修復までの工程中、潮位により「ガルバシールド DAS」が海中に浸かる場合は、ガルバシールド DASM200 を選定します。

- 形状

| タイプ | 亜鉛量 | サイズ | 長さ |
|----------|-----------|---------|--------|
| DAS 025 | 0.37 kg/m | 径 20mm | 1000mm |
| DAS 060 | 0.89 kg/m | 径 30mm | |
| DAS 120 | 1.80 kg/m | 径 40mm | 500mm |
| DAS M200 | 3.00 kg/m | 35×76mm | |

※サイズは標準値で製品には公差があります。

※施工条件により、特注で長さを変更することができますので、その際はお問合せ下さい。

- 設置間隔

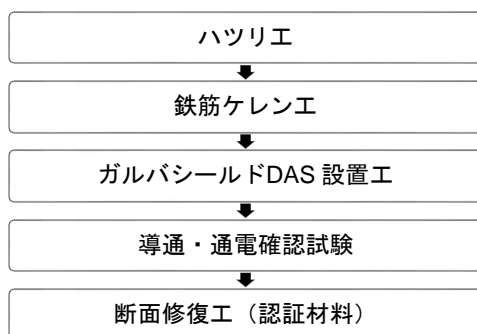
「ガルバシールド DAS」は設計計算書で定めた必要亜鉛量を満たし、且つ設置間隔が 750mm 以下にて配置します。

- 断面修復材

断面修復には、比抵抗およびガルバシールドの防食性能を確認済みの認証材料（モルタル、無収縮など）で行います。

施工方法

■ 施工フロー



■ 施工手順

- ① ハツリエ
 - ・ 鉄筋裏側までコンクリートハツリ取って下さい。
- ② 鉄筋ケレン工
 - ・ 鉄筋の錆等をサンダー、サンドブラスト、ワイヤーブラシ等で除去して下さい。
 - ・ 特に「ガルバシールド DAS」結束箇所はサンダー等で金属光沢がでるまでケレンを行って下さい。
- ③ 設置工
 - ・ 「ガルバシールド DAS」接続線と鉄筋を密着させ固定して下さい。
 - ・ 「ガルバシールド DAS」設置後、コンクリート表面まで 20mm 以上のかぶりを必ず確保して下さい。
- ④ 導通・通電確認試験
 - ・ マルチメーターにて、「ガルバシールド DAS」接続線と鉄筋の抵抗が 1.0Ω 以下であることをすべての設置箇所ですべての確認して下さい。
- ⑤ 断面修復工
 - ・ 断面修復には、比抵抗およびガルバシールドの防食性能を確認済みの認証材料（モルタル、無収縮など）を使用して下さい。
 - ・ 認証外の断面修復材は、設置間隔や防食範囲など想定する効果が発揮できない恐れがあり、防食性能を満足しません。

※詳細は施工要領書を参照下さい。

■ 設置例

気中施工（DAS025）



健全部への適用（溝切り）



荷姿

5本/箱

（数量により木枠やパレットなどでまとめて出荷する場合があります）

保管上の注意事項

- 保管は直射日光を避け、冷暗所で保管して下さい。
- 保管時に本品が水に濡れないよう注意して下さい。

安全衛生上の注意事項

- 強いアルカリ性を有しますので、マスク、保護メガネ、ゴム手袋等の保護具を着用して下さい。
- 目に入った場合は、直ちに清浄な水で十分洗浄し専門医の診断を受けて下さい。
- 皮膚に付着した場合は、直ちに大量の水で洗浄して下さい。